

平成 29 年・市川市長選立候補予定者への公開質問状

市川市国府台 2 丁目にある赤レンガ建築の保存と活用に関して

平成 29 年 11 月 7 日

赤レンガをいかす会

市川市長選立候補予定者

様

深秋の候、立候補準備に向けてご多忙のことと存じます。

赤レンガをいかす会は、市川市国府台 2 丁目に残る赤レンガ建築の歴史的文化的価値を多くの県民に知ってもらい、その保存と活用を求めて活動している市民団体です。

今回の市長選に際して、市長立候補予定者各位が市長になられた場合、当該赤レンガ建築の保存と活用に対してどのように向き合って頂けるかを伺いたく、公開質問をさせていただきます。

なお、この公開質問状は、回答の有無を含めて、すべて市民に公開いたします。

質問 1

国府台赤レンガ建築は、明治 20 年ごろ陸軍教導団によって建てられ、太平洋戦争後は千葉県血清研究所として各種ワクチンを製造して日本国民の健康に役立ってきました。市川市にとって市の発展を証する重要な文化財です。

ご存知ですか？（○をつけてください）

- ・ 見たことがある
- ・ 知っている
- ・ 知らない

質問 2

千葉県からは市川市に対して、「文化財として保存し、公共のために活用する案」が求められましたが、市川市は積極的活用案を示せませんでした。その結果、県は期限（2019 年）を切って独自に売却処分する準備を始めています。

この赤レンガ建物を遺すことについてのお考えは？

- ・ 遺すことが必要と思う
- ・ 遺さなくてもよいと思う
- ・ 現時点では判断できない

質問 3

再び市川市のものとして保存と活用を実現するには、市長が先頭に立ち市民が後押しをする形で、行動を起こす必要があると考えます。

保存と活用に向けて、市として積極的に行動されますか？

- ・ 市として行動を起こすことを考えたい
- ・ 市としての行動は考えていない
- ・ 現時点では、判断できない

質問4

赤レンガをいかす会は、2009年以來毎年「赤レンガ見学会」開催し、シンポジウム開催を通して、赤レンガの重要性、活用の方法など、有識者を交え研究してきました。

私たちは「保存と活用」に向けた、市民・有識者と行政との協働精神によるプロジェクトチーム立ち上げが必要であると考え、協力参加を惜しみません。

協働プロジェクトチームについてのお考えは？

- ・ 市民と協働するプロジェクトチームを組みたい。
- ・ 独自の方法でプロジェクトチームを立ち上げる。
- ・ 現時点では、判断できない

【自由記述欄】

平成29年11月 日

ご署名

ありがとうございました。

「赤レンガ建築の崩壊の危機」という事態に対して、赤レンガをいかす会は千葉県知事と市川市長に対して、赤レンガ建築の「保存と活用」を求める署名活動を始めました。

同時に、次期市川市長をめざす立候補予定者に対して、赤レンガ建築の保存と活用に関するご意向をお聞きし、市民に公開したいと考えます。

ぜひお答えいただけますようお願い申し上げます。

ご回答はこの文書をもって、遅くとも平成29年11月14日までに、FAXかメール添付で
くださいますようお願いいたします。

市民公開は公示日前となります。

連絡・回答先

赤レンガをいかす会 代表 吉原廣

事務所 〒272-0824 千葉県市川市菅野1-1-23 スペース“にわにわ”内

Eメール akarenga_2010@yahoo.co.jp

TEL&FAX 047-369-7522